

1 単元名 あきとふれあおう

2 目標

- 季節の変化を探したり、秋の自然を利用したりして遊ぼうとする。
(生活への関心・意欲・態度)
- 集めた自然物を利用して比べたり、試したり、見立てたりしておもちゃや楽器、飾るものを作ることができる。また、見つけた秋を比べたり、たとえたりして自分なりに言葉で表すことができる。
(活動や体験についての思考・表現)
- 見つけた秋の様子や季節の違いに気付くことができる。
(身近な環境や自分についての気付き)

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領生活科(5)「季節の変化と生活」、(6)「自然やものを使った遊び」を受けて設定されている。

生活や身近な自然から秋を見つけ、自然の移り変わりについて、自分なりの気付きを自分なりの言葉や表現で相手に伝えることは、思考を深め、問題を解決していく力にもつながると考えられる。そこで本単元では、秋の自然と十分に親しむことで季節の移り変わりに気付き、気付いたことを自分なりに表現したり制作に生かしたり、伝え合ったりすることを目指していく。

(2) 児童の実態(略)

(3) 指導観について

本単元では、気付いたことや考えたことを自分の言葉で表現できるように、語彙が豊かになるような支援をしていきたい。諸感覚を使った体験ゲームや、諸感覚を意識した表現活動(詩作りや歌の制作なども含む)を通して、楽しく表現の幅を広げていきたい。また、その際にはICTを活用して情報の提示や共有を効率的に行ったり、秋の遊びに関する資料や材料を教室に用意して実物を見たり触ったりすることを通して発想が広げられるようにしていきたい。

4 指導と評価の計画(13時間扱い)

| | | | | | |
|-----|---------|--------|-------|-------|-----|
| 第1次 | あきがいっぱい | ----- | 2時間 | | |
| 第2次 | どんないろ | どんなにおい | どんなおと | ----- | 2時間 |
| 第3次 | たのしいね | あきのあそび | ----- | 3時間 | |
| 第4次 | きれいだね | おもしろいね | ----- | 6時間 | |

| 時間 | 主な学習内容 | 評価規準 |
|---------------|---|--|
| 8 | ○ 集めてきた葉や木の実を使って貼り絵を作り発表する。 | ・いろいろな色や形、大きさの葉や木の実があることに気付いている。 (気) |
| ⑨ 本時 10 | ○ 集めてきた葉や木の実を使って自分の作りたいものを考える。 ○ 計画を基に作品を作る。 | ・集めた自然物を利用して比べたり、試したり、見立てたりして作るものを考えたり作ったりしている。 (思・表) |
| 11 12 | ○ 作ったもので遊び、楽しかったことや互いの工夫について意見を交流する。 | ・出来上がった作品を互いに見せ合ったり、作ったもので遊んだりして、そのよさを伝え合っている。 (思・表) |
| 13 | ○ 感じた秋を歌(替え歌)で表現する。 | ・見つけた秋を自分なりの言葉で表現し、歌詞にまとめている。 (思・表) |

5 本時の学習

(1) 目標

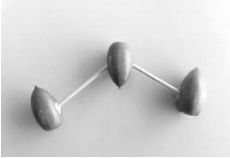


集めた自然物をよく観察し、気付いたことを自分なりに表現し、それらの特徴を生かした楽しい作品を考えることができる。

(2) 準備・資料

電子黒板、公園探検の写真、秋の自然物、ワークシート

(3) 展開

(◎は、個への対応)

| 配時 | 学習活動及び内容 | 教師のかかわりと評価 |
|----|---|---|
| 5 | 1 どんぐりやまつぼっくりを見て、触って気がついたことを発表する。 ・とんがっている。 ・マジックで顔を描いたら人形になりそう。 ・かたくてころがる。 ・小さくてかわいい。 | ○ 実際に手にとって感じることで発想を広げられるよう、グループごとに材料箱を用意し、自由にさわれるようにする。 ○ 前時までの作品やキーワードを教室に掲示しておき、大きさや色、形の特徴に着目できるようにする。 |
| 5 | 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> あきのはやきのみをつかっておもちゃやがっき、かざりなどをつくろう。 </div> | ○ 「遊ぶもの」と「飾るもの」があることを伝え、具体的にはどのようなものが考えられるか意見を発表させる。また、それらを板書に整理し、イメージしやすくする。 |
| 20 | 3 気付いたことを生かして何を作るか計画を立てる。 ・どんぐりやまつぼっくりの人形 ・まつぼっくりのけん玉 ・貼り絵 ・どんぐりごま ・きの実のマラカス ・葉っぱのおめん ・落ち葉のトランプ <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> | ○ 前時は葉の色や形に着目して作品を作ったことを想起させる。 ○ 自由に発想を広げられるよう、前時までに資料を十分用意し見せておく。 ○ 参考となる材料を準備しておき、材料を手に取りながら考えられるようにする。 ◎ なかなか書き出せない児童には口頭で表現させ、それを記入するよう促す。 ○ ワークシートに図と言葉で記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 集めた自然物を利用して比べたり、試したり、見立てたりして作りたいものを考えている。 (思・表) ※発言・記録 </div> |
| 13 | 4 計画したものを発表する。 ・どんぐりの先がとがっているので、こまを作ってまわしたい。 ・葉に穴を開けたりペンで描いたりして、おもしろい顔のお面を作りたい。 ・どんぐりはたくさん集めるといい音がするからマラカスを作りたい。 | ○ まずはペアで発表し合い、その後全体で互いの計画を共有することで、多様な工夫に気付けるようにする。 ○ どうやって作るかなど、悩んでいることがあればそれを相談してもよいことを伝える。 ○ 発表の話型を掲示し、スムーズに話せるよう支援する。 ◎ うまく表現できない児童には、「いちばん工夫したことはどこか」「色・形・大きさ・触った感じ、どこを生かしたいのか」など適宜教師から質問し答えさせることで、考えを整理できるようにする。 |
| 2 | 5 次時の確認をする。 | ○ 必要な材料を準備しておくよう伝え、作成に向けての意欲を高める。 |